

平成27年4月17日（金）

平成28年度経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者受入説明会

“人材”を“人財”に育てるために

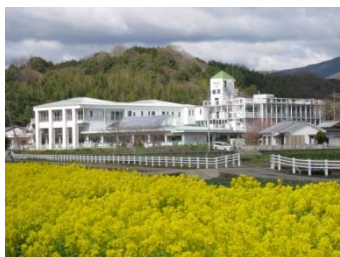
社会福祉法人 蓬萊会

特別養護老人ホーム 蓬萊荘

総務部長 山川 敦司

# 社会福祉法人蓬莱会施設配置図

## 徳島県



○特別養護老人ホーム蓬莱荘

○特別養護老人ホームケアプラザみま



## 東京都

○特別養護老人ホームケアプラザたま



## 神奈川県

○特別養護老人ホームケアプラザさがみはら

# 社会福祉法人蓬莱会の歴史

- 1979年 社会福祉法人蓬莱会設立（徳島県阿波市阿波町）
- 1980年 特別養護老人ホーム蓬莱荘 開設 70床
- 1982年 ショートステイ 19床
- 1992年 デイサービスセンター 25名  
在宅介護支援センター
- 2003年 高齢者総合ケアセンターケアプラザ美馬開設  
（徳島県美馬市美馬町）  
特別養護老人ホーム 40床  
ショートステイ 19床  
ケアハウス 20床  
デイサービスセンター 25名
- 2005年 グループホーム開設 18名【2ユニット】  
居宅支援事業所
- 2012年 介護老人福祉施設 ケアプラザさがみはら開設140床  
（神奈川県相模原市）
- 2014年 高齢者総合ケアセンター ケアプラザたま開設171床  
（東京都多摩市）

# 受入を考えたきっかけ

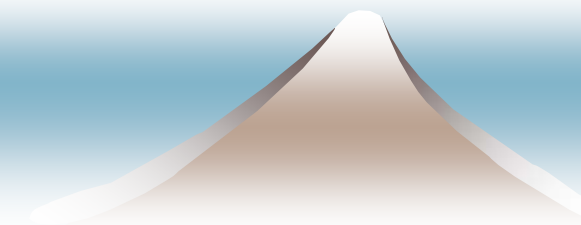
## ○人材不足解消のため

→数年間、定着率の低下が目立った

## ○日本人職員の意識改革

→正しい日本語で正しい知識を伝える  
事ができる能力

→スキルアップを図る



# 受入したインドネシア人の特徴

## <性格>

- 明るくて勤勉
- 好奇心旺盛

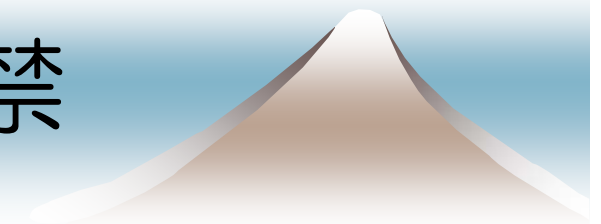
## <宗教>

- イスラム教

※ラマダン：神の恵みに感謝し、1年で約1か月、日中の  
飲食を絶つこと

## <食べ物>

- 豚肉とアルコールは厳禁



# 受入状況について

平成21年度

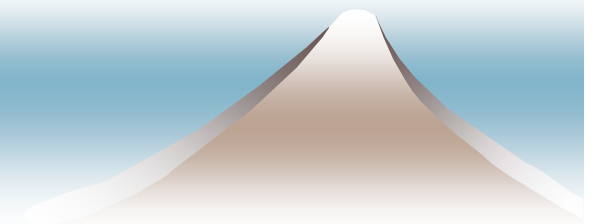
インドネシア人 女性2名を受入

平成22年度

インドネシア人 女性2名を受入

平成26年度

インドネシア人 男性2名女性2名を受入



# 介護福祉士国家試験状況

平成24年度介護福祉士国家試験

受験者 2名 合格者 2名

平成25年度介護福祉士国家試験

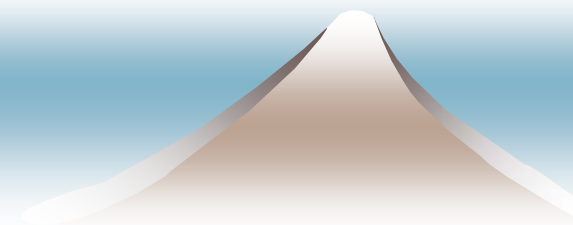
受験者 2名 合格者 2名

現在EPA介護福祉士合格者

4名（100%）

※うち1名は合格後、しばらく就労し帰国

受入決定から  
介護福祉士合格  
までの流れ





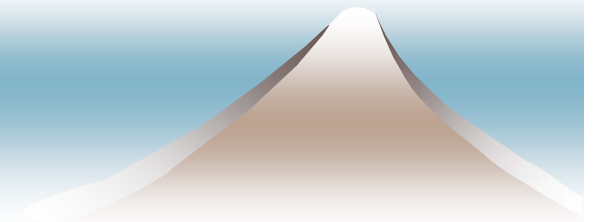
# 事前準備として・・・

## 施設でのサポートチームの結成

生活支援  
チーム

学習  
チーム

就労支援  
チーム



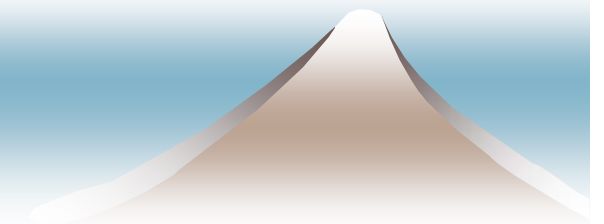
# 生活支援チーム

○インドネシアと日本の文化を知る

食生活の違い

宗教上の違い

※近隣に住んでいるインドネシア人をお願いをして、職員に対して話をして頂く機会を作った



# 受入事前説明会（施設内研修）



平成21年12月実施

初めての受入に際し、特性・習慣  
について説明を受ける



# 生活支援チーム

## 生活環境の整備

施設近隣のアパート（2DK）を準備

2名ごとの共同生活

電化製品、寝具等の準備

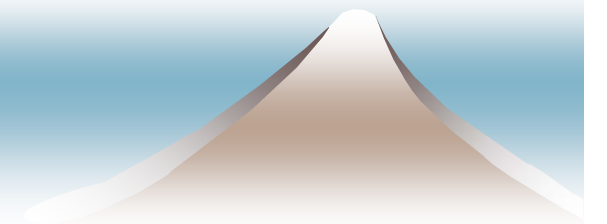
移動手段として自転車を準備

近隣の店マップを作成し、自転車で案内

緊急連絡網を作成

物品使用方法等の説明書作成

近隣住民や交番などにも情報提供



# 学習チーム

日本語習得支援

施設内に勉強部屋を確保

日中のお祈り部屋としても使用

日本語講師（元小学校教諭）より指導

頻度・・・週1回（2時間）

教材・・・JICWELSの教材及び講師準備  
教材を使用

職員からの指導（介護用語）

頻度・・・週2日（1日1時間）

※毎日の記録ノートの作成及び添削

# 日本語講師との学習風景



# 就労支援チーム

## 入所者様・職員の把握

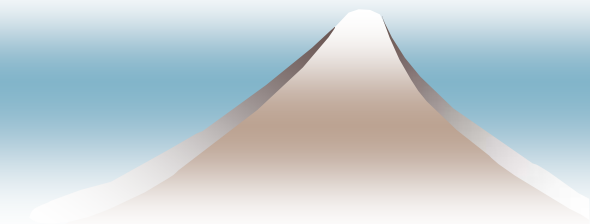
- 居室ごとの入所者様情報を提供
- 職員名簿を提供

## 業務の把握

- チューター制度を導入し、個人ごとに担当者を選定
- 業務マニュアルを細かく作成

## 蓬萊会の実施サービスについての説明

- 一覧表を作成し、各事業の説明

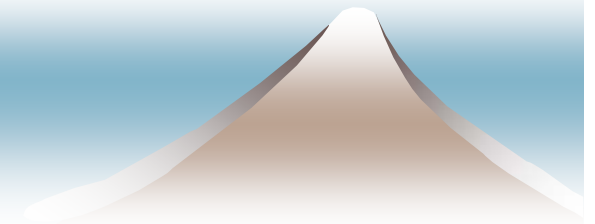


# ウェルカムセシモニー風景

入所者様と共に迎えました



理事長、施設長、職員と共に

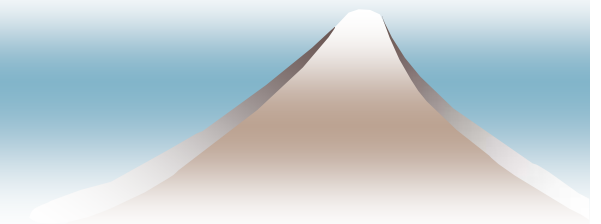




# 就労開始後の支援体制

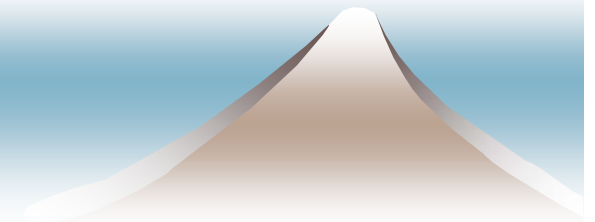
## ＜生活支援チーム＞

- 近隣住民への挨拶回り
- 通勤経路の確認
- 周辺店マップを確認しながら、実際に行ってみる
- 電化製品等使用方法の説明
- 周辺の観光案内
- 地域行事への参加促進（祭り、スポーツクラブなど）



# 就労開始後の支援体制

- 1年ごとの目標計画を作成
- 日本語の理解
  - 日常会話になれる（方言の理解）
  - ※コミュニケーションの重要性
  - 介護用語の理解（意味の理解）
- 地域になじめる支援



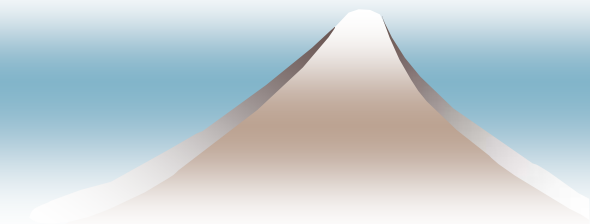
# 1年目の目標計画

- 日本語指導  
日本語講師による指導：週1回（2時間）  
日常会話に必要な単語及び熟語  
日本語能力試験（N3）合格にむけて
- 国家試験に向けて  
職員による指導：週2日（1日1時間）  
介護に関する言葉の理解
- 自己学習  
毎日の記録と1日介護単語5語覚える
- 生活基盤の確立  
地域への浸透・・・地域住民とのコミュニケーション支援  
地域行事への参加  
健康管理の徹底・・・体調を崩さないように日常生活の確認  
ストレスをためないように相談職員を配置
- 仕事内容の把握  
流れを知る・・・チューターの指導のもと、1日の流れを身につける  
コミュニケーションを中心にまずは、方言と介護用語に慣れること  
毎日小さな目標をたて、1日の振り返りと、目標の達成度をノートに記載し提出
- JICWELSの支援  
定期試験への取り組み及び集合研修への参加

介護の言葉と  
漢字ハンド  
ブック・ワー  
クブックを活  
用

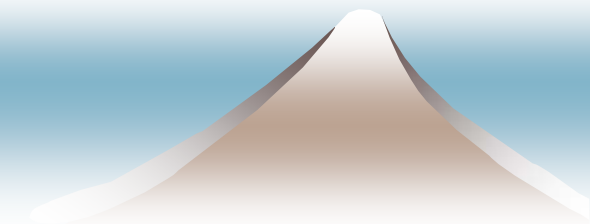
# 2年目の目標計画

- 日本語指導  
日本語講師による指導：週1回（2時間） 継続  
日本語能力試験：（N2）合格にむけて
- 国家試験に向けて  
職員による指導：週2日（1日1時間）  
介護福祉士養成講座テキストを活用
- 自己学習  
毎日の記録と1日介護単語5語覚える 継続  
JICWELS教材“介護福祉士国家試験対策新カリキュラム”活用
- 介護技術・知識向上  
介護職員初任者研修受講、修了  
施設外研修への参加
- 仕事の内容の把握  
目標をたて、1日の振り返りと、目標の達成度をノートに記載し  
提出 継続
- JICWELSの支援  
定期試験への取り組み及び集合研修への参加



# 3年目以降の目標計画

- 日本語指導  
日本語講師による指導：週1回（2時間） 継続
- 国家試験に向けて  
職員による指導：週3日（1日2時間）  
介護福祉士養成講座テキストを活用  
※介護福祉士15の分野に職員の担当を配置し、交代で指導する  
模擬試験での時間的な配分  
苦手分野の克服（特に読解力）  
介護技術講習会への参加
- 自己学習  
JICWELS教材を用いて復習及び試験と同じ時間で模擬試験を実施
- JICWELSの支援  
定期試験への取り組み及び集合研修への参加



# ちょっと息抜き・・・

職員のお宅で初めてのお正月を迎える



# 日本の文化に触れる

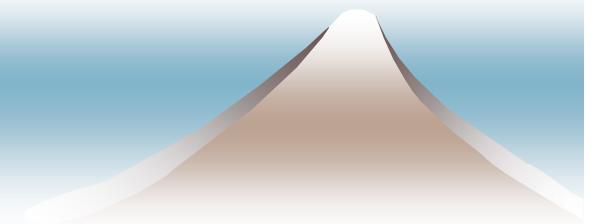


# 直前の対策

質疑応答の時間を多く取り、分からない部分の確認と、あいまいな部分の確認

1日の勤務時間を縮小し、自己学習の時間を多くとる

(午後から勉強の時間にあてる)

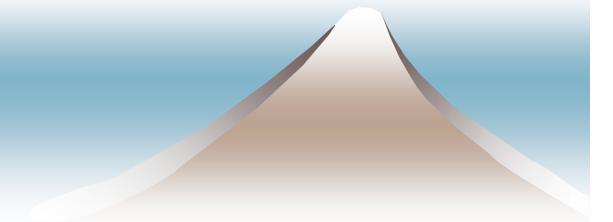




# まとめ

## ○今の現状

- 介護福祉士に合格後、4名中3名は就労中。
- 新人職員及び後輩EPA介護福祉士候補者の指導者となっている。
- 正規職員として、日本人同様の職務と責任をもち、プロの介護福祉士として活躍している。



ご清聴ありがとうございました



蓬萊会職員懇親会にて